



UMEX 夢っくす ニュース

かわらばん 4・5月号

NHKラジオ生中継と
ポトラックランチ



連休の中日になる5月2日(水)国際大学内でNHKのラジオ生中継が行われ、大学からのお誘いを受けて夢っくすの会員の方々も生中継に参加しました。

11時頃から晴天の中リハーサルは行われたのですが、本番前から嵐のような天気となってしまいました。それでも中継は行われ、皆さんもよくご存じの学生さんたちが流暢な日本語で南魚沼での体験談などをお話しました。放送をお聞きになった方はいらっしゃいましたか？

その後、ラジオに出演した学生さん達とサロンでポトラックランチを楽しみました。当初BBQコートでのランチを予定していたのですが、突然の雨でやむなくサロンでのランチとなってしまいました。学生さん達も2年生は論文提出を済ませこれからの残り少ない日本での生活をどのように過ごすかという話で盛り上がりました。卒業式まで残り1ヶ月、学生さん達が楽しい思い出を残せるように宜しくお願いします。

(高橋和子)

ホームページも見てね!
www.umex.ne.jp

白川郷バスツアーに参加して

4月22日(日)に国際大学の学生さんと一緒に、毎年恒例となっているバスツアーに出掛けました。今回は、世界遺産で有名な白川郷に行きました。この時の感想を会員の樋口真実さんと学生のチナラさん(キルギスタン出身)に寄せて頂きました。

国際大学を出発して車内から見える気色は魚沼を抜けると平野が広がり、海岸沿いからの山の中へ。山の色は、ブナの木の新緑、山桜の白と桃色、楓(かえで)の赤。まるで淡い色の水彩画を見ているようでした。いくつものトンネルを通り抜けて溪谷を見ながら峠を越え、そして合掌造りの集落が現れました。やっと白川郷。バスから降りて吊り橋を渡り、合掌造りの集落の中へ。学生さん達と一緒に合掌造りの民家の中を見学。囲炉裏がある大広間、中二階の古い民具、三階の黒い艶のある屋根裏。とても素晴らしく、懐かしい感じがしました。帰りのバスの中で学生さ



ん達と合掌造りの民家の屋根が萱(かや)で作られている話で盛り上がり、そしていろいろな話をしながらあっという間に楽しい時間が過ぎました。学生さん達とのとても楽しい旅の思い出ができました。運営委員の皆さんありがとうございました。

(樋口真実)

Shirakawa village trip, April 22, 2007

First of all, I would like to express my sincere thanks to the organizing team of the UMEX for giving us an opportunity to experience some parts of traditional Japanese culture. Shirakawa-go is indeed one of the most outstanding manifestations of the old-style Japan. After visiting Shirakawa-go, I could myself witness why this village is considered to be the world cultural heritage according to UNESCO. I was especially impressed by the old-style houses, the houses with a triangular roof truss, known as the Gassho-style houses. The uniqueness of this style is that no single nail or peg is used to unite the wood. The whole house is constructed by uniting all the wood by ropes. Even though I am not a student of architecture or design school, but I can sincerely appreciate to the level of the common excitement and appraisal the simplicity of this style as well as its beauty. The Gassho style house is the most vivid instance of how simple things in this life may be the way to express a human's good genius.

Another important and impressive part of Shirakawa-go is its location. This village is surrounded by the mountains, which presents an unforgettable feeling- a feeling of unity of human being with the Mother-Nature. For those of us, who can appreciate the beauty of mountains and the lifestyle of people who live in such naturally charming places, Shirakawa-go is a definite destination. Even though it was just one-day trip, this trip greatly enriched and contributed to my knowledge of the Japanese traditional lifestyle. It is an indispensable part of the memories that an IUJ student could have during two years long stay in Japan. Once again, I am grateful for the UMEX people, who made this 'short' but essentially substantial experience possible. Doumo arigato gozaimashita.

Sincerely,
Chinara Esengul, IRP-2007, Kyrgyzstan



樋口真実さん(一番右)
チナラさん(中央)

修了生との再会

夢っくすでの活動にはいつも素敵な出会いがあり、そんな出会いの喜びが、私の活動のエネルギー源です。そして、出会った人たちの笑顔が私にまた新たなエネルギーをチャージしてくれます。でも毎年「また、どこかで再会できたら」と思いながら、ちょっぴり寂しい別れの季節を重ねて来ました。ところが、ついに私は先日、日本語チューターのパートナーであったマレーシアからの留学生とその家族に（残念ながら彼の母国ではありませんでした）日本で再会することができました。彼は家族とともに今度は駐日マレーシア大使館の公使参事官として赴任して来たのです。『善は急げ』とばかりに私たちは連絡を取り合い東京で再会することにしました。彼は私たちを東京の自宅に招待してくれました。三年余りの時の流れなどなかったかのように私たちは、浦佐での思い出やマレーシアでの生活そしてお互いの家族の近況など時を忘れ語り合いました。

奥様は、私達のためにマレーシア風ランチを用意してくれました。マレーシアに在住していたことのある私達にとって彼女の料理は私たちにマレーシアでの生活を懐かしく思い出させてくれました。私たちは彼と奥様の心温かいおもてなしやお心遣いを心から嬉しく思い感謝の気持ちでいっぱいでした。東京での再会にはユメックスサロンで初めて彼に会った時以上に大きな喜びと心温まる充実感がありました。こんな風にいつまでも心が繋がっていただけることに感動しました。

次は新潟（浦佐）での再会を、そして彼の母国での再会を楽しみにしつつ...
Berjumpa lagi!
そして、彼の日本でのより一層の活躍をお祈りしています。
(森本美智枝)

塩沢ひな人形かざり

3月25日（日）に学生さんと一緒に塩沢で行われているひな人形かざりを見学に行きました。その時の感想を堺陽子さん（会員紹介参照）に寄せて頂きました。

To celebrate girl's day a festival called Hina-matsuri is held on the 3rd of March in Japan. On this day traditional dolls are dressed in ancient costumes and displayed in homes for those who have daughters. These dolls represent health and happiness for the girls.

On Sunday 25th of March, UMEX had organized a trip to Shirakawa, a village located in Minamiuonuma District, Niigata. Even though it is said to be bad luck for the young girls if the dolls aren't put away when the doll festival is over, because there was heavy snow-fall in this area during March, the village extended their hina viewing for the people. In this village there were many shops displaying hina dolls. UMEX members along with IUJ students, parents and children joined the short trip to view the lovely dolls and later visit a Osake factory.



堺 陽子さん（前段一番右）



As we entered each shop, I was amazed at how much effort that had been placed into the set up of the dolls. Each had their own place in the shop. My favourite dolls were the ones set up in a hierarchy where the musicians were placed at the bottom and the emperor and empress were perched on the top wearing their beautiful kimonos.

We entered a Sake shop later on which also displayed hina dolls. But at this stage I think people were more interested in the sake than the dolls not including the children. About ten of us went through to the back of the shop where the production of the precious Osake was taking place and were taken through the different stages. We wore protective wear gear such as white lab coats, gumboots and hair nets which made us feel apart of the sake crew. Some of us tasted the fermented rice. Its flavour was a little sweet and texture was that of half cooked rice. At the end of the tour we were all given a taste of sake. Some, I won't mention names, had more than their fair share. Luckily, they weren't driving home.

Overall it was an enjoyable trip and I'm recommend more people to join the short trips organised by UMEX.

Yoko Sakai

南アフリカ講座に参加して



ヘレナさん

4月20日（金）に夢っくすサロンで、南アフリカから留学しているヘレナさんから南アフリカについて、プロジェクターで写真を映しながら紹介して頂きました。

南アフリカはアフリカの一番南の国、まさに日本の反対側にあります。地球儀で確かめてみてください。日本から南アフリカへ行くには、シンガポールかドバイで乗り継ぎ1日かかるとのことです。遠い〜っ。

面積は日本の約3倍、人口は日本の約40%で、民族はアフリカ先住民が75%、ヨーロッパ系が13%その他12%で、言葉も9言語が使われているとのこと。変化に富んだ海岸線や山岳地帯、湿地帯から砂漠まで様々な自然が残っており、世界遺産も数多くあります。オクラランバ公園には2,400年前の岩絵が残っています。産業は農作物、ダイヤモンド、金などの鉱物資源に様々な工業も盛んです。最近南アフリカのワインも有名で日本でも手に入るようになりました。南アフリカはかつてヨーロッパと東洋貿易の中継基地として重要な位置にあったこととダイヤモンドと金が発見されたことが歴史に大きな影響を及ぼしました。

アパルトヘイト政策も1991年に終わり、新しい南アフリカの時代を歩んでいます。アフリカでありながら最もアフリカらしくない国と言われています。2010年にはサッカーのワールドカップの開催が予定されています。

今から準備して、Let's go South Africa in 2010.

(櫻井徳治)

キッズイベント



鯉のぼり作りは楽しかったですか？

5月5日(土) こどもの日に六日町の駅通りでフリーマーケットがあり、同日にホムラ市が開かれました。

今回のキッズイベントは、IUJを飛び出し、ホムラ内にある手作りアクセサリーのお店、三橋さんと一緒に「手作り鯉のぼり体験」としてホムラ市に参加しました。内容は白地の布に着物の端切れをうろこにして貼って行き、裏側には手形などで模様にして記念の鯉のぼりが出来ました。IUJの外でのキッズイベントでしたが、IUJの学生の方やご家族も何名か参加して頂く事が出来ました。フリーマーケットの方も洋服屋さんやおもちゃ屋さんが並んでいたため、お母さん達も楽しんでいました。

今回は「作ること」がメインの企画でしたが、今後は来てくれた人達同士の交流が持てるようなキッズイベントをして行きたいと思えます。

キッズイベントではお手伝いをしてくれる方を大募集中です。興味がある方は高波までご連絡下さい。

高波 香苗
080-5963-8609
ena_-_@ymail.plala.or.jp



初めての日本語チューター



「典型的」読み方は？意味は？読み方はわかるけど、意味は漠然としかわからない。情けない。こんな漢字を日本語クラスで習っているポーンスン(写真左)が、私のチューター相手。タイの方で、とてもチャームングな女性です。

日本語歴は？ タイで3ヶ月、日本に来て、日本語クラスで6ヶ月。聞き取りが上手にできないので、日本の人と会話をしたいとのこと。つまり、簡単な会話は大丈夫だけど、難しい単語になると意味がわからない。でも、9ヶ月ほどで、ここまで話せるなんてすごいと思う。

日本語難しいでしょう？ 難しいけど、おもしろいと返事が返ってきた。たいへんな中にも面白味や楽しみを見つけられる人は素敵！

先人の言葉に「人に灯火をともしば、我が前明らかなり」という言葉があります。私でも役に立てるなら協力したいと思って取り組み始めました。

今回は、半分はポーンスンの宿題をみて、残りの半分はその時期の事柄を話題にして、進めていこうと思っています。こんな感じでいいのかな？ 兎に角、よろしくお願いします。

永瀬正子

【日本語チューターの日】

4月27日(金)夜のサロンで、日本語チューターのマッチングをしました。留学生とボランティアを希望する会員さんと、新しい会話パートナーを探したい方が次々とサロンに集まりました。一組、二組、三組...とその場でペアが決まっています。てんやわんやの1時間半でしたが、こうして顔を合わせて人と人が出会うのはいいですね。皆さんそれぞれに次に会う約束をしていました。

日本語チューターへの参加は、応募用紙でいつでも受け付けています。今回のような「日本語チューターの日」も引き続き開催して行きますので、是非日時を確認のうえお越し下さい。(大出恭子)

運営委員の募集について

日頃、夢っくすの活動にご協力頂きまして、ありがとうございます。

夢っくすは今年の5月で6年目に入りますが、4月に運営委員の交代があり、また、各々の運営委員も忙しいことから、以前にも増して運営が大変になっています。これに加えて、今年は暖冬の影響で山菜の時期が早まったことから、春の山菜パーティーが実施できませんでしたし、掲載する記事も少なくなりました。このことから、今回かわらばんが4・5月号というかたちになってしまいました。という訳で、引続き運営委員を募集しております。夢っくすの運営をお手伝い頂ける方は、是非ご一報頂けますよう、お願い申し上げます。

★今後の予定★

●キッズサロン

絵本の読み聞かせや、お母さんと子供達の触れ合い遊び、手遊びの紹介をしようと思っています。赤ちゃんのいる方もお気軽に参加ください。

日付：6月10日(日)
時間：午前10時～12時
場所：国際大学内
世帯寮(タタミルーム)
問合せ：高波香苗(左記事参照)

●思い出ピクニック

今年も卒業直前の学生さんを連れて、あてま高原リゾート・ホテルベルナティオへのピクニックを企画しました。学生さんの最後の思い出作りのために一緒に出掛けませんか？

日付：6月17日(日)
出発：午前10時
集合：国際大学正面玄関前
問合せ：久保田(イベント担当)
080-6564-6833

●総会のお知らせ

今年も以下の日程で総会を開催しますので、会員の皆様にはご参加頂けますよう、お願い致します。

日付：6月24日(日)
時間：午後2時～4時
場所：南魚沼市大和公民館
JR浦佐駅東口から
車で5分

日	月	火	水	木	金	土
5/27	28	29 夢っくすサロン	30 英会話教室 午前・夜	31 英会話教室 午前・夜	6/1 夢っくすサロン	2
3	4	5 夢っくすサロン	6 英会話教室 午前・夜	7 英会話教室 午前・夜	8 夢っくすサロン	9
10 キッズサロン	11	12 夢っくすサロン	13 英会話教室 午前・夜	14 英会話教室 午前・夜	15 夢っくすサロン	16
17 思い出ピクニック	18	19 夢っくすサロン	20 英会話教室 午前・夜	21 英会話教室 午前・夜	22 夢っくすサロン	23
24	25	26 夢っくすサロン	27	28	29 夢っくすサロン	30

★★会員紹介コーナー★★

会員No. 333 堺 陽子さん

- ① ハワイ (アメリカ)
- ② 日本語
- ③ アフリカドラム、ソフトボール
- ④ 小旅行に行きたい!
- ⑤ 日本語の勉強
- ⑥ 今、中学校でALTをしています。
どうぞ、宜しく!

- ①一番行きたい国②興味のある言語③趣味や特技
- ④夢っくすでやってみたいことは⑤今やっている国際交流⑥一言どうぞ!



新会員のご紹介

- No.334 吉本秀名さん (南魚沼市)
- No.335 佐藤了子さん (魚沼市)
- No.336 山田紀子さん (南魚沼市)
- No.337 星野佑美さん (南魚沼市)

★よろしくお祈りします★

ちょっと説明...

彼女はオーストラリアで育ったため、
母語は英語なので、今、日本語を勉強中です。

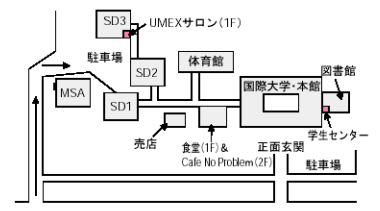
From 事務局

- 国際大学に来校される際には必ず会員証を携行して、守衛さんからサロンの鍵を借りる際には提示して下さい。また、大学の構内にいる間は、首から提げて、守衛さんから会員であることが一目で判るようお願い致します。
- 会員の入会・更新を随時受け付けています。まだ更新がお済みでない方は今年も継続をお願い致します。
- <入会費振込み郵便局口座>
会費：3,000円 (個人会員)
家族会員：1,500円
口座番号：00550-7-74672
口座名称：うおぬま国際交流協会
- 会員証のフォルダーはサロンに置いてありますので、お持ちでない方はサロンに取りに来て頂けますよう、お願い致します。

UMEX うおぬま国際交流協会
UONUMA Association for
Multicultural EXchange



〒949-7277
新潟県南魚沼市国際町777番地
国際大学内 UMEX事務局国際交流サロン
TEL/FAX: 025-779-1520
E-Mail: office@umex.ne.jp
URL: http://www.umex.ne.jp/



担当者連絡先

サロン 高橋:025-773-3123 イベント 久保田:080-6564-6833
多言語支援/外国語 鈴木:025-777-2605 日本語 関矢:090-7803-7983
広報 森山:090-6945-9402 事務局 025-779-1520

【編集後記】

今回もようやく編集を終えることができて少しほっとしています。今後は、皆さんの学生さんとの日頃のやりとりなんかも掲載して行きたいと考えていますので、遠慮せず是非ご一報頂ければと思っています。(toshi)